

# SENBOKUスマートシティ推進ビジョン

SENBOKUスマートシティコンソーシアム

令和7年9月18日

# INDEX

## 目次

1. はじめに	2
2. SENBOKUスマートシティコンソーシアム	3
3. これまでの振り返り	6
4. 2030年を見据えた推進ビジョン	12
5. 数値目標（2025～2030年）	14
(参考) 運営委員会の活動 (事業を推進するための取組)	17

# 1. はじめに

SENBOKUスマートシティコンソーシアムは、「SENBOKU New Design」及び「堺スマートシティ戦略」の理念や「SENBOKUスマートシティ構想」で示すコンセプトに基づき、公民がイコールパートナーとして取組を推進するコンソーシアムとして、2022年6月27日に設立しました。

設立から3年を迎え、これまで会員の皆様と共に多様な事業を実施してまいりましたが、住民の暮らしの質の向上を図りながら、住民がそれぞれの暮らしを愉しむ、「Live SMART, Play SENBOKU」の実現には至っていないという現状があります。

運営委員会では、これまでのコンソーシアムの活動の多くが実証にとどまり、住民にご利用いただけるサービスの実装につながっておらず、住民が暮らしの質の向上を実感できていないという結論に至りました。

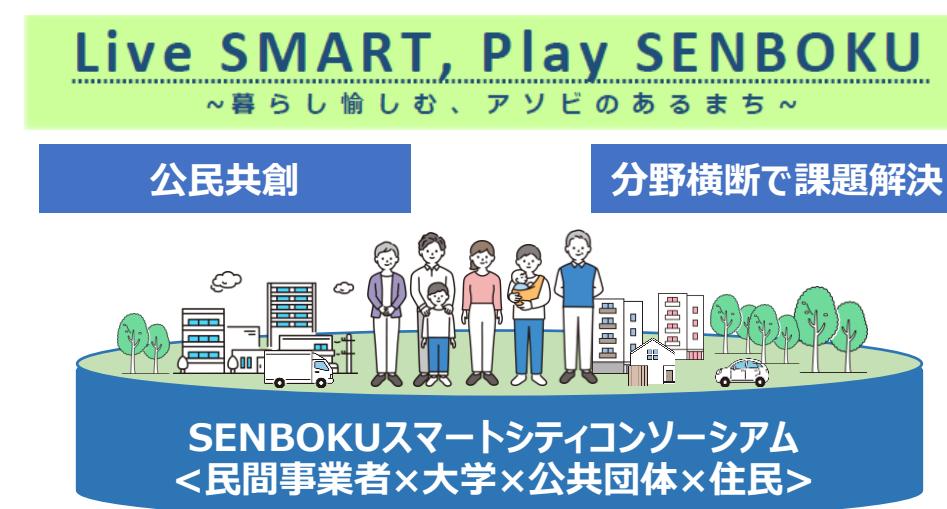
こうした状況を踏まえ、運営委員会では「地域住民の課題解決が暮らしの質（QOL）の向上に直結する」ことを再認識し、会員の皆様と2030年のスマートシティ実現までのビジョンを共有し、共に行動するための指針として「SENBOKUスマートシティ推進ビジョン」を策定しました。

本ビジョンでは、これまでの活動を振り返り、課題を整理した上で、スマートシティを実現するための取組テーマとして「交通移動支援サービス」「健康維持・予防支援」「デジタル連携／安全・安心」を設定しました。今後とも、新しいサービスの社会実装と地域への定着をめざし、会員の皆様と課題を共有し、会員各位の共創によって持続的に新たな価値創出を実現してまいります。

## 2. SENBOKUスマートシティコンソーシアム

### コンソーシアムの設立目的

堺スマートシティ戦略（2021年5月策定）の理念に基づき、公民連携でICTを活用し、分野横断的に地域課題の解決等に取り組むことにより、住民の暮らしの質の向上（Live SMART）を図りながら、住民それぞれが暮らしを愉しむ（Play SENBOKU）ことのできる新たな価値を創造し、泉北ニュータウン地域ならではの魅力を高め、持続的に発展すること、また、時代に応じた新たな技術や仕組みを導入しスマートシティ化を実現することを目的とする。



## 2. SENBOKUスマートシティコンソーシアム

### 対象区域

泉北ニュータウン※地域（堺市南区）を対象区域とする。

泉北ニュータウン地域は堺市南区にあり、泉北ニュータウンを中心とした計画的市街地と農地、集落地、丘陵地等からなる。市街地には、泉ヶ丘、梅・美木多、光明池の3駅を有する南海泉北線が走り、南海なんば駅に直結している。また、泉北ニュータウンを大阪府道208号堺泉北環状線が外周しており、区域内のアクセス向上が図られている。

#### ※泉北ニュータウンの概要

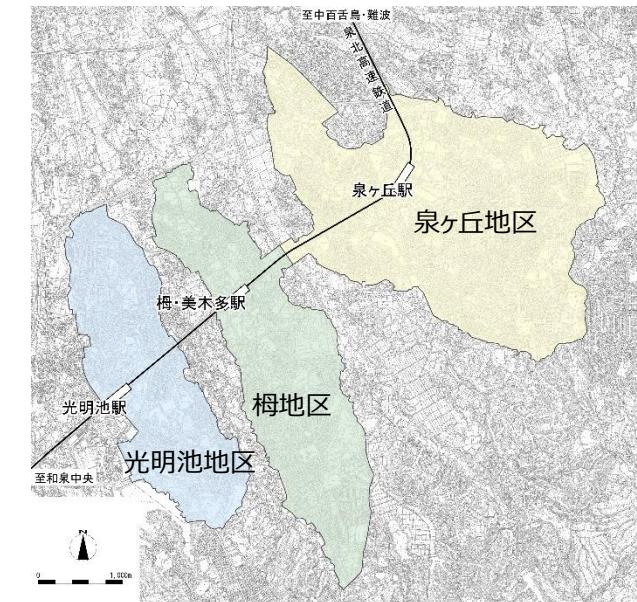
高度経済成長期の住宅需要に応えるため、大規模な計画的市街地として整備され、1967年のまちびらき以降、泉ヶ丘地区、梅地区、光明池地区と順次開発が進められた。そして、日本を代表する大型ニュータウンのひとつとして、計画的に整備された都市基盤、住宅地と商業地等の用途が適切に配置された土地利用、若い世代が通う教育機関の集積、緑豊かな住環境等の強みを活かし、周辺の地域と一体となって成長を遂げてきた。

人口※1	110,614人	
高齢化率※1	37.6%	
世帯数※1	55,179世帯	
戸数※2	全体	約59,400戸
	うち公的賃貸住宅	約27,000戸

※1 2024年12月末時点

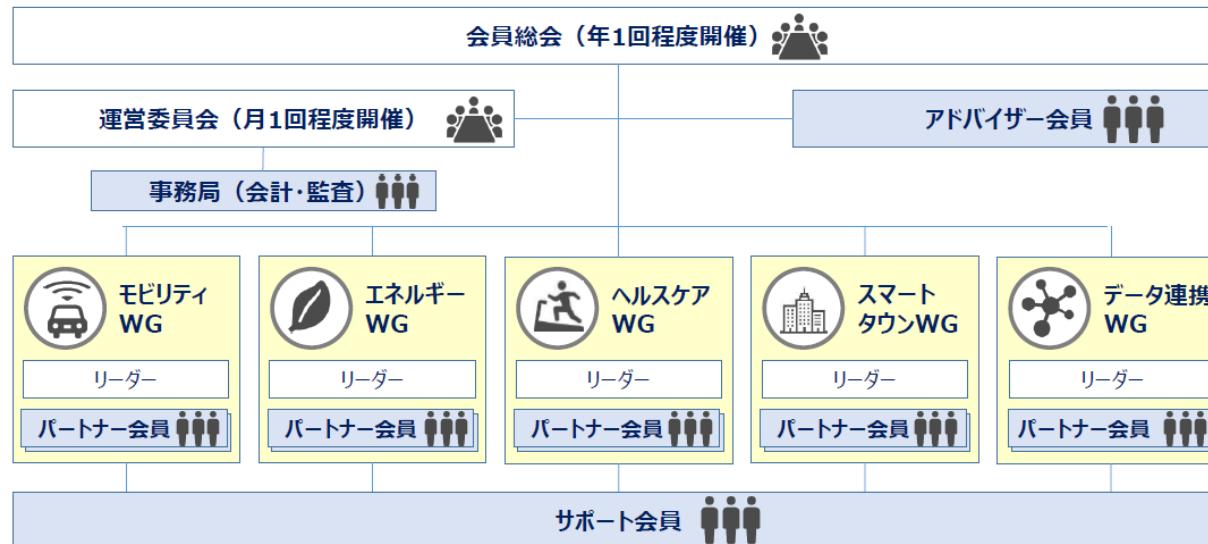
※2 公的賃貸住宅は2021年3月31日時点の現況管理戸数。その他の住宅は住宅地図（2021年10月）等による。

#### 泉北ニュータウンの地区の区分



## 2. SENBOKUスマートシティコンソーシアム

### 推進体制

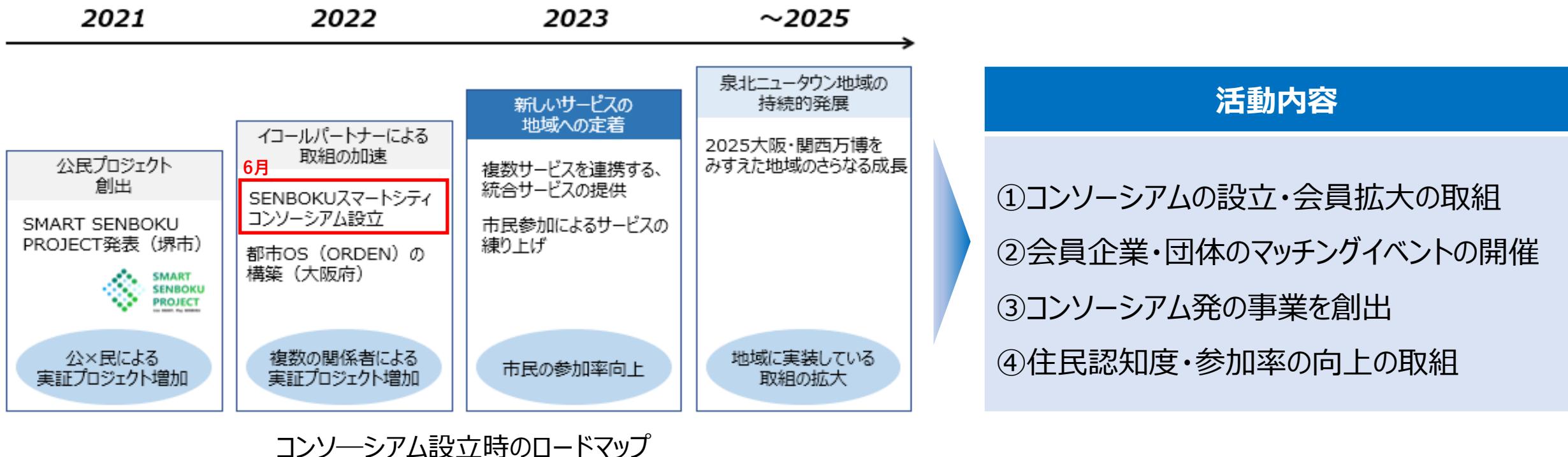


モビリティWG リーダー	南海電気鉄道（株）、堺市
エネルギーWG リーダー	大阪ガス（株）、堺市
ヘルスケアWG リーダー	南海電気鉄道（株）、堺市
スマートタウンWG リーダー	南海電気鉄道（株）、堺市
データ連携WG リーダー	NTT西日本（株）、堺市

### コンソーシアムの構成員

会員	169団体 [2025年8月末時点]
運営委員会	南海電気鉄道株式会社、大阪ガス株式会社、NTT西日本株式会社、堺市
アドバイザー会員	運営委員会より任命され、各種専門的知見等から運営にアドバイスを行う企業、団体、地方公共団体等
パートナー会員	SENBOKUスマートシティコンソーシアムの目的に賛同し、事業内容の提案及び役務提供を行う企業、団体、地方公共団体等
サポート会員	SENBOKUスマートシティコンソーシアムの目的に賛同し、事業内容の提案及び役務提供以外で、要請に応じて適宜支援を行う企業、団体、地方公共団体等

### 3. これまでの振り返り



### 3. これまでの振り返り（活動内容①）

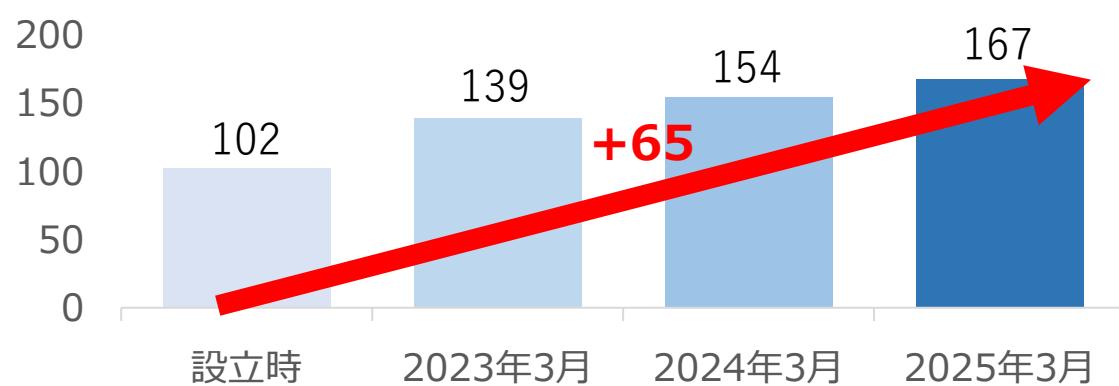
#### コンソーシアムの会員の状況

	設立時	2022年実績	2023年実績	2024年実績	設立比増減
会員数	102	139	154	167	+65

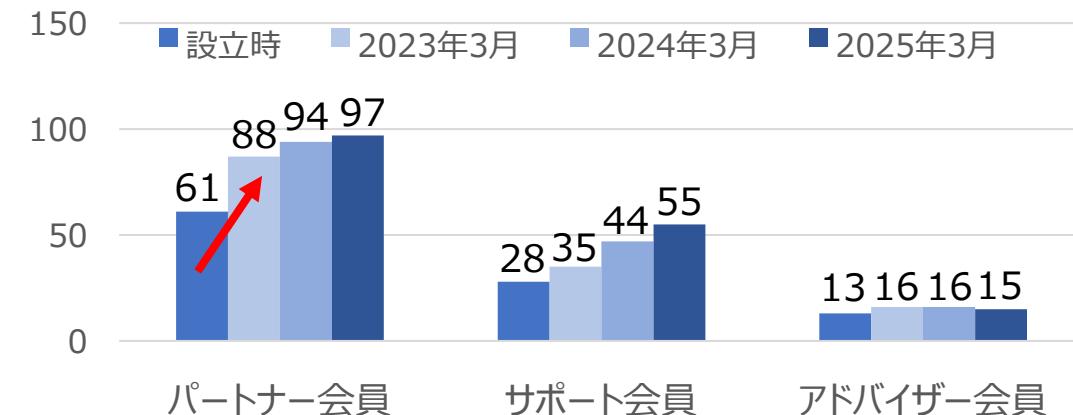
#### これまでの活動内容

- 企業セミナー、イベントブース出店、メディア掲載等でコンソーシアムの活動を積極的にPR。
- 東京、大阪で開催されたピッチイベントに参加。

コンソーシアム会員数



コンソーシアム会員数（内訳）



・コンソーシアムの設立時から会員数は167団体（2025年3月末現在）まで大幅に増加。

・事業提案や役務提供を伴うパートナー会員は2023年3月以降は微増。適宜支援を行うサポート会員は増加。

### 3. これまでの振り返り（活動内容②）

#### 会員企業・団体のマッチングイベントの開催

事業創出支援制度や企業連携を促進するイベント等、企業団体をマッチングする取組を開催。

##### 会員企業の事業創出支援制度の創設

採択事業：地域共創プラットフォーム構築による泉北エリア活性化事業（2023年）  
デジタルを活用した見守りあい体制づくり（2024年）

##### 会員企業間の事業創出イベントの実施

2023年から毎年開催（2023年7月6日 / 2024年7月12日）

##### 産官学が理想のまちづくりを語る座談会

2024年からスタート（2024年9月27日）

##### 現場見学会、意見交換会

南区自治連合協議会の3会長との座談会（2022年）  
大阪府活用地見学会・情報交換会（2023年）  
運営委員会4者の意見交換会（2024年）等

##### コンソーシアム会員企業向けアンケート

###### ○コンソーシアムに加入している目的

順位	加入目的	回答数	占有率
1	会員企業とのリレーション	33	18.1%
2	堺市とのリレーション	32	17.5%
3	スマートシティに関する情報収集	30	16.4%
4	泉北ニュータウン地域の事業者とのリレーション	20	10.9%
5	実証事業の情報収集	17	9.3%

○35社が事業を実施したいが自社だけでは実施が困難と回答  
※2024年11月にコンソーシアム運営委員会が実施したアンケート（抜粋）

実証事業行った会員の割合 (事業数／会員数×100)	2022年	2023年	2024年	3ヶ年平均
7.9%	9.7%	7.9%	8.5%	

・これまでに実証事業を行った会員は、全会員の8.5%にとどまっている。

・会員企業とのリレーション構築を加入目的に挙げる会員が多く、会員の強みと地域課題のマッチング強化が必要。

### 3. これまでの振り返り（活動内容③）

#### コンソーシアム発の事業を創出

##### 地域課題の解決に向けた実証事業等の実施

	2022年	2023年	2024年	合 計
コンソーシアム発の事業数	11	15	13	39



AIオンデマンドバス実証事業（第3弾）



モビリティハブ「泉北ぷらっと」実証事業

これまでの活動内容
○事業創出支援制度の創設。
○コンソーシアムが会員と共に創（連携・協働）し 國の補助金を活用した事業を展開。



地域ポータルアプリ「堺・せんぼくポケット」実証事業

- ・泉北ニュータウン地域をフィールドに会員が企画した新たなビジネスモデルの実証事業等を複数実施。
- ・これまでに39のコンソーシアム発の事業を創出し、実証フィールドとしての魅力を発信。

### 3. これまでの振り返り（活動内容④）

#### 住民の認知度・参加率の向上の取組

スマートシティの体験・体感イベントやスマホ出前講座を開催し、取組の認知度向上を推進

	2022年 実績	2023年 実績	2024年 実績	2022年-2024年 増減
泉北ニュータウン地域でのスマートシティの取組を知っている	11.4% (23/201)	24.4% (21/86)	17.1% (23/134)	+5.7%
	2022年 実績	2023年 実績	2024年 実績	2022年-2024年 合計
スマートシティ体験・体感イベント	1	1	1	3
スマホサポートによるスマホ出前講座	実施回数	—	15	14
	受講者	—	111	119
				230



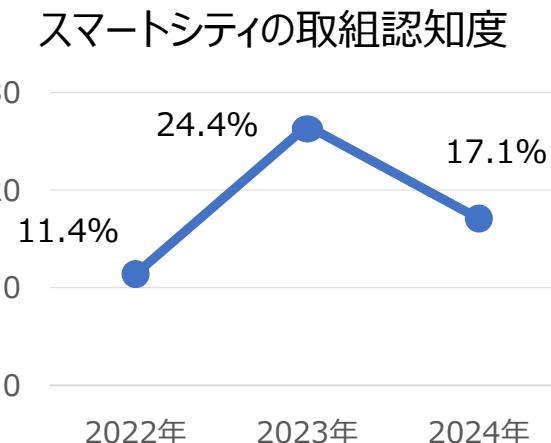
2023年 スマートシティフェスタ（10月）



2024年 スマホ出前講座

#### これまでの活動内容

- 体験・体感イベントにより住民とのタッチポイントを創出。
- スマホセンターがスマホの使い方をレクチャーするスマホ出前講座を実施。センター養成講座も展開。



スマートシティの体験・体感イベントでのアンケート結果

・体験・体感イベントやスマホ出前講座で住民との接点が増加し、スマートシティに関する取組の住民認知度が向上。

### 3. これまでの振り返り（まとめ）

#### 取組の成果

- ▶ コンソーシアムの活動を積極的にPRすることで、**コンソーシアムの会員は増加。**
- ▶ 事業創出支援制度の創設や、国の補助金を活用した実証事業の実施を通じて、**実証フィールドとしての魅力を発信。**
- ▶ スマートシティ体験・体感イベントやスマホ出前講座の実施により、スマートシティの取組に対する**住民の認知度が向上。**

#### 課題

- ▶ 会員数は増加したものの、実証事業を行う会員が限定的で、コンソーシアム発の**事業数が横ばい**である。
- ▶ 住民のスマートシティの取組に対する認知度は向上したものの、「**実装化**」に至った**事業がないため住民が暮らしの質の向上を実感できていない。**

#### 原因

- ▶ 幅広いテーマで実証事業を募集したため、市民目線に立ち実装を見据えたテーマ設定ができていなかった。
- ▶ コンソーシアムの最終目標（KGI／KPI）がなく、活動成果の評価や進捗管理が不十分だった。
- ▶ より多くの会員企業が事業を創出したり、参画できる仕組み（マッチング、対話の場の提供）や支援体制が不足していた。
- ▶ スマートシティに関する取組の住民認知度は向上したが、実証サービスの利用者が目標を下回るケースがあった。

#### 解決策

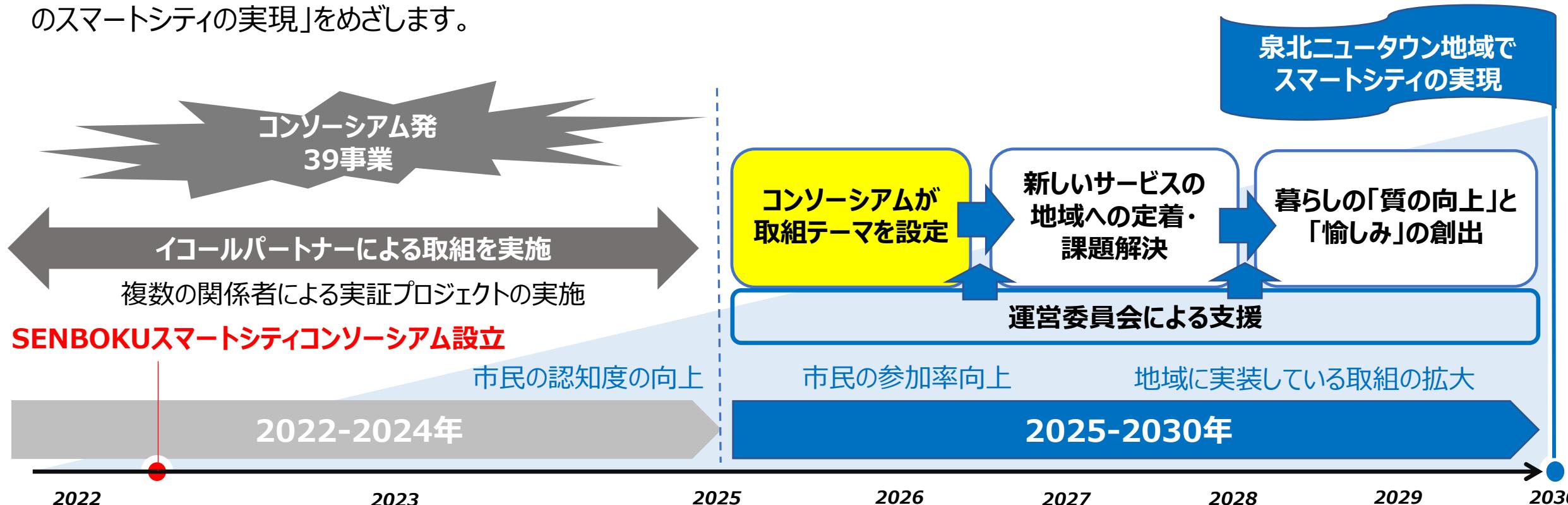
- ▶ 堺市南区ウェルビーイングアンケート調査※等から地域課題を整理し、コンソーシアムが取り組むテーマを設定する。
- ▶ コンソーシアムのKGI／KPIを設定し、活動成果の評価や進捗管理を通じて目標達成をめざす。
- ▶ 会員企業の事業創出・参画を促進するために、運営委員会が行う環境整備・関係構築・支援体制を明確にする。

※デジタル庁が全国調査結果を公表している地域幸福度（Well-Being）指標を用いて、南区住民における幸福度指標の特徴とその具体的な要因を分析するために実施した調査  
(実施期間：2023年12月上旬～2024年2月下旬)

## 4. 2030年を見据えた推進ビジョン

SENBOKUスマートシティコンソーシアムでは、堺市南区基本計画に掲げる方針と堺市南区ウェルビーイングアンケート調査に基づいた住民の声からコンソーシアムが取り組むテーマを設定。

会員間の共創を促進する取組を強化することでパートナーシップを構築し、新しいサービスの地域への定着・地域課題の解決に取り組むことにより、住民の暮らしの質の向上と住民が暮らしを愉しむことのできる新たな価値を創造し、「泉北ニュータウン地域でのスマートシティの実現」をめざします。



## 4. 2030年を見据えた推進ビジョン（コンソーシアムが取り組むテーマ）

堺市南区基本計画に掲げる基本方針と堺市南区におけるウェルビーイングアンケート調査結果をもとに、コンソーシアムが取り組むテーマとして、「**交通移動支援サービス**」「**健康維持・予防支援**」「**デジタル連携／安全・安心**」を設定

分野	実績 [2020年度]	2030年予想	2030年に想定される状況
人口※	118,181人	約90,980人（▲23%）	
高齢化率※	36.4%	41.1% (+5pt)	
後期高齢者率※	18.7%	27.9%前後 (+9pt)	
39歳以下人口比率※	31%	28.8% (▲2pt)	
近隣センター空き店舗率	11.0% → 21% [2008→2020]	空き店舗率の増加	
堺市要支援・要介護認定率 [2024.9]	65-74歳：6.7% 75-84歳：25.9% 85歳以上：69.6%	増加傾向(地域住民の28.6%が要支援・要介護)	
公共交通サービス水準	一部の路線で減便	採算悪化でバス路線のさらなる廃止・本数半減	

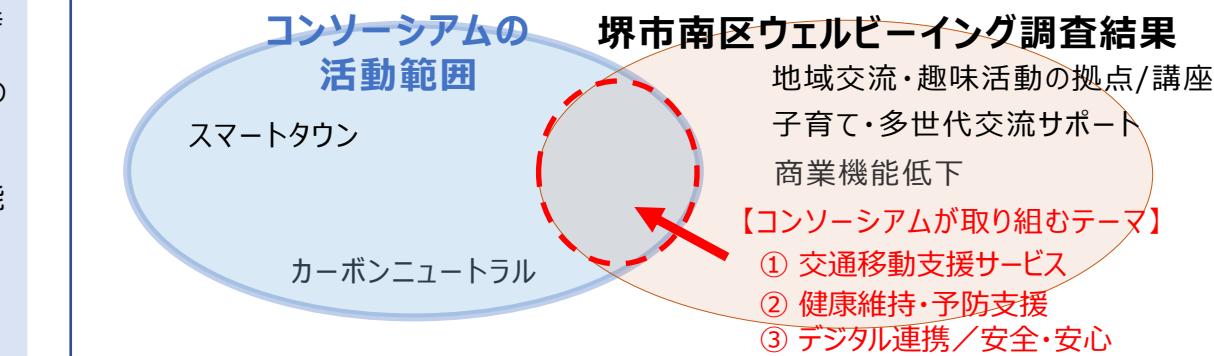
※泉北ニュータウン地域

- 70代以上の高齢者は「移動手段がない」「家族に頼る」が多数／公共交通を「十分」と答えた方は30%以下
- 「災害時に不安」と感じる人が全体の65%以上／省エネ意識は高いが、導入実績は低い
- 「健康に不満あり」+「相談できる場なし」がセットで多数／心の不調（孤独感・ストレス）も一部で顕在化
- 近隣センターや商業施設の衰退による交流機会の喪失／「孤立している」と感じる人が高齢女性で特に多い
- 「必要な情報が届いていない」「行政のデジタル支援サービスが使いづらい」との声／高齢層で「スマホ活用に困っている層」も多い

※堺市南区ウェルビーイングアンケート調査、SEN BOKU New Design、堺スマートシティ戦略、泉北ニュータウン駅前再整備計画等

### 堺市南区基本計画の基本方針

- 1 ひとが絆を結び、安全安心で快適に暮らすことができる都市
- 2 ひとがいきいきと輝き、健やかに成長することができる都市
- 3 ひとが未来へと紡ぎ、魅力と誇りを育むことができる都市



分野	2030年にめざす姿（市民目線）【①②③】
モビリティ	パーソナルな移動を可能とするシェアモビリティや移動利便を高める仕組み等、世代や属性に応じた最適なフレキシビリティの高いサービス提供がされている状態
エネルギー	住民のエネルギーの利活用意識が高まり、災害時の備えを含む、行動変容が起きている状態
ヘルスケア	ICTを活用したデータやエビデンスに基づいた取組により、住民が自分の健康に関心を持ち主体的に健康的な生活習慣をとれている状態
スマートタウン	コンソーシアム発のサービスを取り入れた街区・施設等が創出されている状態
データ連携	都市OSを活用した行政・医療・モビリティ等のサービス利用率30%以上、「情報がわかりやすい」と答える住民比率60%以上（アンケート調査を実施）

## 5. 数値目標（2025～2030年）

コンソーシアムの目的に立ち返り、2030年に実現したい姿を数値化したKGI・KPIを設定し、活動成果の評価や進捗管理を通じて目標達成をめざす。

### KGI（2030年）

新しいサービスの地域への定着・課題解決

コンソーシアム発の実装<sup>※1</sup> 事業数 **5件**

暮らしの質の向上や暮らしの愉しみを実感

実装事業利用者・実証参加者 **南区民の30%** <sup>※2</sup>

### KPI

コンソーシアム発の実証<sup>※3</sup> 事業数 **25件**

※1 泉北ニュータウン地域を含むエリアにおいて、実証での検証や製品やサービスの開発・提供内容（料金、利用方法、ビジネスモデルキャンバス等）の決定が完了しており、サービスの提供終了期間が定められておらず、住民が利用可能な状態にあるもの（堺市が行政サービスとして提供又は補助金等を支出してサービスを支援したものも含む）。

※2 コンソーシアム発の実装事業の利用者、コンソーシアム発の実証事業の利用者及び参加者の延べ人数を、2030年12月末時点の南区15歳以上人口で除した数。

※3 確かめたい検証目的が存在し、かつ期間が短期間等、サービスの提供期間が予め定められたもの。

これまで

2022

2023

2024

2025

2026

2027

これから

2028

2029

**2030**

KGI、KPIを設定せずに  
WGテーマに沿って広く実証事業を募集  
会員との対話

**KGI/KPI  
の設定**

**2027年度までの活動計画**

**2030年に向けたローリング**

**KGI/KPI  
の達成**

## (参考) KGI・KPIの現状

	項目	2024年 ※2	～2030年 目標値
KGI	コンソーシアム発の実装事業  実装事業利用者・実証参加者／ 南区15歳以上人口※1	0件  10.9%	5件  30%
KPI	コンソーシアム発の実証事業	3件	25件

※1 2024年12月末現在の住民基本台帳（外国人住民を含む）による区域別年齢別人口統計表から算出

※2 コンソーシアムの設立以降に実証事業を開始し、2025年3月末時点でサービスが提供されているもの

# (参考) コンソーシアム発の事業一覧

	区分	年度	内容	件数
コンソーシアム発の事業	実証事業	【令和6年度】	電動サイクルシェアリング、あんしん見守りサポート事業（第2弾）、AIオンデマンドバス（第3弾）、モビリティハブ「泉北ぶらっと」、デジタルを活用した見守り合い体制づくり、歩行領域モビリティシェアリング「C+walk S、WHILL Model」シェアリング、歩行領域モビリティ「COMOVE（コモビ）」のシェアリング、泉ヶ丘デジタルスタンプラリー、竹城台ゼロエネルギータウン創出事業	25
		【令和5年度】	住民共創スマートシティに向けたスマートエリアでのニーズ・シーズマッチング、ヘルスケアリビングラボ、公民連携ポータルアプリ「堺・せんぼくポケット」（スマイルLINK TV Stickとの連携を含む）、あんしん見守りサポート事業（第1弾）、泉北アバタープロジェクト、VoCを活用した南区ウェルビーイング見える化プロジェクト、地域WEBプラットフォーム「まちっと堺・泉北」の開設、SENBOKUスマートシティコンソーシアムと近畿大学が連携した「カレッジラボ」、ベビーカーシェアリングサービス「ベビカル」、デジタルエンディングノート、AIオンデマンドバス（第2弾）	
		【令和4年度】	電動キックボードシェアリング、ICTを活用した市民共創実証プロジェクト、AIオンデマンドバス（第1弾）、泉ヶ丘から関空へ！日帰り体験モビリティ、スポーツジム会員を対象とした睡眠計測会	
	会員同士の交流	【令和6年度】	座学意見交換会「ちゃぶ台スナック雑談会」、ピッチイベントへの参加（SENQ de URBAN CHALLENGE In SENQ、ニュータウンの移動課題解決に向けたモビリティハブの構築、チャレンジを続ける鉄道会社社員と自治体職員がめちゃくちゃ熱く語る官民共創事例、こんなことで困っています 堺市職員との大交流会）	9
		【令和5年度】	大阪府活用地見学会・情報交換会、事業創出アイデア検討会	
		【令和4年度】	南区自治連合協議会会長とSENBOKUスマートシティコンソーシアム運営委員会の座談会、次世代ZEH+の提案（ZEH+SWG）スマートタウンWGと連携、泉北ニュータウンまちづくり現場見学会&先行プロジェクト事例の発表会、“まちのソフトサービスをスマートで支える”まちづくり勉強会、エネルギーWGのキックオフ会議	
	住民との接点	【令和6年度】	スマホセンターによる市民のためのスマホ講座（個人参加者向けスマホ講座）、南区ふれあいまつり	5
		【令和5年度】	スマホセンターによる市民のためのスマホ講座、わくわく！体験！SENBOKUスマートシティフェスタ2023	
		【令和4年度】	いざみがおかつながるDays	

# (参考) 事業を推進するための取組

2030年に向けて、2つの柱でスマートシティ実現に取り組む

## 泉北ニュータウン地域でスマートシティの実現



# (参考) 事業を推進するための取組

会員情報をデータベース化し、会員間のマッチングを支援。

ヒト・コト・アイデアが集い、出会い、新たな価値の創造・創出につながる共創イベントを新設。

マネタイズに向けた会員間の連携の支援やコンソーシアムで蓄積された実証・実装に関するノウハウの提供。

## 会員データベースの構築

- データ連携WGの活動の一環として、会員のデータベースを構築。以下のような情報をデータベース化することで、会員間のマッチングを支援（初回の連絡時には、運営委員会が必要に応じて仲介）

- 会員名
- 参加WG
- 連絡先（公開可能な場合）
- お持ちのソリューション
- お探しのソリューション 等

（個人情報は掲載しません）

## 共創の場の提供

- 情報提供としてのイベントは継続しつつ、ヒト・コト・アイデアが集い、出会い、新たな価値を創造・創出する共創イベントを新設
  - 課題別/テーマ別ディスカッション
  - 現地見学会 等

- 他のコンソーシアム等が開催するマッチングイベントに運営委員会として参加し、情報収集を行い、会員に共有する取組を実施



## マネタイズ検討支援

- 会員が実施している関連事業の情報提供を通じて会員間の連携を支援
- コンソーシアムで実施された実証事業の結果の共有や実装パターン※に応じたノウハウの提供

※実装パターン

- (1) 行政が提供すべきサービスで、受益者負担を求めるもの
- (2) 民間が提供するサービスで、行政が主体的に導入促進を図りたいもの
- (3) 民間事業者が通常事業として提供するサービス
- (4) 民間事業者がPR目的等で、直接的な対価なしで提供するサービス

# (参考) 事業を推進するための取組

KGIの達成には、実証事業の参加者拡大や実装事業の利用促進に直結する、住民との接点を増やすための具体的な取組を実施。

## 住民ニーズの深耕

- 運営委員会にて、泉北ニュータウン地域で重点的に活動する法人や団体等と情報交換を行い、住民ニーズを深耕。
- アプリや地域SNSを通じて、日常的な住民の声を収集し、潜在ニーズを把握。
- 利用者インタビューや行動データをもとにニーズをセグメント化。
- 得られた情報等は、会員にフィードバック。

## 地域イベントへの参加

- 南区ふれあいまつり、健康イベント、防災訓練等で、実証事業の体験機会を提供し、実証サービスの登録やサービス利用を促進。参加者に対するインセンティブの付与も検討。
- 近畿大学医学部と連携した「カレッジラボ」を通じて、学生や地域住民との新たなつながりを創出。

## SNS等を活用した取組の再検討

- SNSによる情報発信ツールが多様化しているため、現在のX（旧twitter）に変わる情報発信ツールを検討。
- 会員向けには、コンソーシアムの動きをタイムリーにお伝えできるよう、現在のメルマガ配信の頻度を増加。
- 高齢者層への有効なアプローチ手法を検討。
- QRコードを活用した子育て世代への情報提供。